

## コロンビア政治情勢（7月分）

### 1 概要

#### 【内政】

- 2～31日 コロンビア政府とE L N間の第6回和平交渉
- 4日 憲法裁判所が和平特別司法制度（J E P）における軍人に対する特別措置を承認
- 4～5日 社会活動家の暗殺
- 13日 元F A R C兵が和平特別司法制度（J E P）に出廷
- 18日 国連が2万3千ヘクタールのコカ栽培地の自発的な根絶を認定
- 20日 新規国会の発足
- 26日 国連コロンビア検証ミッションが第二四半期の報告書を提出
- 30日 サントス大統領がベネズエラ人の在留特別許可に係る法令を公布

#### 【外交】

- 6～9日 ドウケ次期大統領のスペイン訪問（於：マドリード）
- 7日 コロンビアとニカラグアのカリブ海域の領有権を巡る問題でニカラグアが国際司法裁判所（I C J）に訴答を提出
- 16～17日 オルギン外相の欧州訪問（於：ブリュッセル）

### 2 本文

#### 【内政】

#### 1 コロンビア政府とE L N間の第6回和平交渉

2日、二度の中断を経て、キューバ・ハバナでコロンビア政府とE L N間の第6回和平交渉が再開されたものの、31日、同交渉は相互一時停戦の合意に至ることなく終了した。ベルトランE L N側和平交渉団長は、8月7日に発足する次期政権に交渉の継続を要請した。同団長は、国連による検証メカニズムに関し軍が受け入れない点があるため、同交渉は妥結に至らなかったと主張している。

#### 2 憲法裁判所が和平特別司法制度（J E P）における軍人に対する特別措置を承認

4日、憲法裁判所は、法令2017-706を承認した。同法令は、大統領権限によって推進され、軍人が紛争下に犯した罪に関する裁判は和平特別司法制度（J E P）の通常の法廷ではなく、J E P内に新たに設置される軍事法廷で行われる。

#### 3 社会活動家の暗殺

4日、ペトロ前大統領候補選挙事務局アンティオキア支所で調整役を務めていたコルテス氏が殺害された。同氏は、パラミリタリー（準軍事組織）から脅迫を受けていた。本年

7月4日時点の社会活動家の殺害数は40人に上る。また、コロンビア国家警察はFARCとの最終和平合意後（2016年8月以降）に遡った殺害数は178人、人権擁護局は2016年1月からの殺害数を311人とそれぞれ報告している。社会活動家の暗殺は主にカウカ県及びアンティオキア県で発生している。

#### 4 元FARC兵が和平特別司法制度（JEP）に出廷

13日、元FARC兵の上層部らが和平特別司法制度（JEP）に召喚され、紛争下での重罪に係る裁判を開始するため、JEPに出廷した。

#### 5 国連が2万3,770ヘクタールのコカ栽培地の自発的な根絶を認定

18日、ディアス国連コロンビア検証ミッション違法作物代替部長は、昨年5月に開始された違法作物代替プログラムによって、農民によるコカ栽培地の自発的な根絶が2万3,770ヘクタール行われた旨発表した。また同部長は、今後コカ栽培地の根絶認定を予定している栽培地を考慮すると、計4万9,031ヘクタールに上り、当初の目標である5万ヘクタールの根絶をほぼ達している旨述べた。

#### 6 新規国会の発足

20日、2018-2022年任期の新規国会が発足し、1年目にあたる2018-19年の上下両院の執行部が選出された。また、野党は緑の同盟及び「人民革命代替勢力党（Fuerza Alternativa Revolucionaria del Común）」を含む左派政党によって構成された。

#### 7 国連コロンビア検証ミッションが第二四半期の報告書を提出

26日、アルノー国連コロンビア検証ミッション代表は、国連安全保障理事会に第二四半期の報告書を提出した。同報告書では、元FARC兵に対する暴力への懸念が記されており、2017年8月から2018年7月の期間に51名の元FARC兵が殺害、また、5名の強制失踪者が発生した旨報告されている。他方、同代表は元FARC兵の社会再統合プロセスの迅速化を訴えた。

#### 8 サントス大統領がベネズエラ人の在留特別許可に係る法令を公布

30日、サントス大統領は、コロンビアに滞在しているベネズエラ人に在留特別許可を与える旨を明記した法令を公布した。同許可は、労働、社会保障制度への加入及び就学を認めるもの。コロンビア移民局によると、現在、38万1,735人のベネズエラ人が移民ビザ、4万5,896人が一般滞在資格をそれぞれ取得しており、44万2,462人が一般滞在資格を申請している。

## 【外交】

### 1 ドウケ次期大統領のスペイン訪問（於：マドリード）

6～9日、ドウケ次期大統領はスペインを訪問し、サンチェス首相及びフェリペ6世国王と会談した。

### 2 コロンビアとニカラグアのカリブ海域の領有権を巡る問題でニカラグアが国際司法裁判所（ICJ）に訴答を提出

7日、ニカラグアは、カリブ海に位置する島や周辺海域の領有権を巡る問題で昨年11月に両国が提出した反訴に対し、ニカラグアが国際司法裁判所（ICJ）に訴答を提出した。

### 3 オルギン外相の欧州訪問（於：ブリュッセル）

16～17日、オルギン外相はブリュッセルで開催された第二回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）・EU閣僚級会合に参加した。また、同外相は17日に太平洋同盟及びEU間の外相朝食会を主催した。さらに、ベネズエラの民主主義回復を支援する目的で形成されたリマ・グループは、共同宣言を発出した。同宣言は、政治、経済、社会及び人道面で危機的状況に陥っているベネズエラに対して発出され、同国で発生している憲法秩序の破壊、不公正な選挙を非難するとともに、深刻な人権侵害及びベネズエラとコロンビアの国境付近でベネズエラによる武器及び軍用機の移転が行われているとの情報に強い懸念を表明している。